

第 55 回（2026 年度）
九州臨床検査精度管理研究会 精度管理調査
（2026 年 9 月）

微生物部門

精度管理調査手引書

<注意すべき点>

1. 入力締切日は厳守してください。入力締切日：2026 年 9 月 16 日（水）
2. データ入力各施設にて入力漏れのないように行ってください。入力締切日以降の回答内容の訂正はできませんので、ご注意ください。

九州臨床検査精度管理研究会

第 55 回（2026 年度）九州臨床検査精度管理調査について

謹啓

貴施設には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。この度は、九州臨床検査精度管理研究会にご賛同いただき、本調査への参加を賜り、誠にありがとうございます。

本研究会は本年をもちまして55回目を迎えることと相成りました。Web 精度管理システムを導入し、生化学検査、蛋白分画検査、HbA1c、尿検査、凝固検査、イムノアッセイ、免疫血清、輸血関連検査、生理検査及び微生物検査の調査を実施しております。本研究会は、臨床検査における精度管理の質的向上と啓発を図る事を目的としております。この主旨をご理解いただき、今後ともご協力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

謹白

2026 年 8 月

九州臨床検査精度管理研究会

◎ 精度管理調査・研究会について

【目的】

臨床検査における精度管理の向上と啓発を図ることを目的としております。

【対象】

本調査・研究会は九州全県下の各官公私立病院・診療所・検査施設、医師会臨床検査センターおよび登録衛生検査所を対象として行います。

【報告締切】

2026 年 9 月 16 日（水） 締切厳守

測定条件・測定値等は Web 精度管理システム (<https://seidokanri.kyushuqc.com/shisetsu/>) へ入力していただきます。

【評価・集計結果】

各施設の回答結果に対して施設別の評価を行い、「施設別報告書」を作成いたします。また、項目ごとにデータを集計解析後、「精度管理調査報告書」を作成いたします。

「施設別報告書」と「精度管理調査報告書」は Web 精度管理システムよりダウンロード可能です。各報告書の郵送はいたしませんので、ご了承ください。

【報告会】

下記日程にて研究会の報告会を開催します。

2027 年 2 月 14 日（日） 九州大学医学部 百年講堂（予定）

計画の変更等が発生いたしましたら、弊社 Web サイト (<https://www.kyushuqc.com/>) にて随時告知いたしますので、適宜ご確認ください。

【問合せ先】

九州臨床検査精度管理研究会 事務局

E-mail: secretariat@kyushuqc.com FAX : 092-642-5772

調査項目一覧表

各項目の測定試料は、●印の付いている番号の試料を測定して下さい。

調査項目		試料番号				
		26	27	28	29	30
		凍結乾燥冷蔵	凍結乾燥冷蔵	凍結乾燥冷蔵	凍結乾燥冷蔵	凍結乾燥冷蔵
微生物	フォトサーベイ	(Web 精度管理システム上にてフォト公開)				
	同定	●	●			
	薬剤感受性			●	●	●

試料の取り扱いについて

1. 各試料は感染性の危険があるものとして、患者検体と同様に扱ってください。
2. 試料到着後は、参加申込された項目の試料が入っていることをご確認ください。
参加項目の試料が入っていない場合や菌株が発育しないなど、試料に不備がある場合は、速やかに2 ページ下部の【問合せ先】までご連絡ください。
なお、参加項目の試料が冷凍・冷蔵ともある場合は、1 施設あたり 2 個口での配送となり、到着時間が異なる可能性があることをご了承ください。
3. 試料 26～30 は、使用する際に滅菌生理食塩水や滅菌精製水、あるいはトリプトソーヤブイヨン（SCD ブイヨン）などの非選択液体培地を 1 mL 程度添加し、白金耳等で攪拌の上その 1 白金耳を寒天培地に塗布してください。
※菌数が少ない場合があるので、残った菌液は適当な増菌培地へ接種し培養してください。
4. 取り扱い方法の間違いによる試料の再送依頼には対応いたしかねますのでご注意ください。

Web 精度管理システム(全般)

1. 測定条件・測定値等は全て Web 精度管理システムへ入力していただきます。
(<https://seidokanri.kyushuqc.com/shisetsu/>)
上記システムへログインの際には参加登録時に使用した施設 No.とパスワードが必要です。今年度新規に参加されたご施設は、参加登録後に事務局より送信する「施設登録完了メール」にて施設 No.とパスワードをご案内しております。
2. 参加登録時の申込項目のみ測定条件と結果の入力が出来ます。
参加登録した項目と回答欄が異なる場合は、p.2 下部の【問合せ先】までご連絡ください。
3. システムのログアウトの際には右上のログアウトボタンよりお願い致します。
ブラウザの閉じるボタン【×】で閉じてしまうと 2 時間ログインできなくなりますのでご注意ください。
また、同一 ID にて複数端末から同時にログインすることはできません。
4. ご施設の通信環境によっては、測定値の登録に時間がかかる場合がございます。
登録後、再度ログインし全ての結果が入力されていることをご確認ください。
5. データ入力の際には、更新ボタンをクリック後、右下の「CSV ダウンロード」にて入力内容のご確認をお願い致します。
入力データに関する問い合わせをいただいた際には、ダウンロードした CSV ファイルの確認をお願いする場合がございます。評価完了までは各施設で保管をお願いいたします。
6. データ入力方法の詳細につきましては、Web 精度管理システムにログイン後、ホーム画面下部の「入力マニュアル」をご参照ください。
データ入力における不具合等ございましたら、報告締切日（9 月 16 日（水））までに、p.2 下部の【問合せ先】までご連絡ください。

Web 精度管理システム(各項目)

1. 同定検査について：
 - ・ 使用培地の選択は、大分類（培地種別）、小分類（メーカー名）、培地名からなっております。プルダウンリストより選択してください。
プルダウンリストには、本手引書と同時に公開中の「培地・キット一覧」に収載されている培地名が登録されております。
 - ・ 機器名については、機器メーカー名を選択後プルダウンリストより選択してください。機器メーカー名は手入力いただくと候補が表示される仕様です。
プルダウンリストには、本手引書と同時に公開中の「測定装置一覧」に収載されている機器名が登録されております。
 - ・ 菌種同定にて追加試験を行った場合は追加試験名と追加試験結果を入力してください。
2. 薬剤感受性検査について、検査方法にて「その他」を選択された場合は、コメント欄に詳細を入力してください。
3. 施設にて該当する検査を実施していない等、微生物検査のうち一部回答できない項目がある場合には、回答できない項目(試料)のデータ入力画面の参加登録欄にて「回答不能」と選択いただき、理由欄にその理由をご記載ください。データ評価時に理由を確認し、評価対象外に該当するか否かを判断いたします。
4. 用手法の場合は、検査機器メーカー：「その他」→ 機器名：「用手法」を選択いただき、使用キット欄に記載をお願いします。
5. 入力データ・試料に関するコメントがございましたら、結果入力画面のコメント欄にご入力ください。画面下部のコメント欄に入力される際には、対応する試料番号を記載の上コメントの入力をお願いします。
※同定検査試料 26、27 のコメント欄は共通となっております。他の試料のコメントを削除されないよう、お願いいたします。
※薬剤感受性試料 28、29、30 のコメント欄は共通となっております。他の試料のコメントを削除されないよう、お願いいたします。

微生物検査実施要綱

【微生物フォトサーベイ】

画像・設問とも Web 精度管理システム上に掲載いたします。
Web 精度管理システム上でご確認いただき、ご回答ください。

【試料 26（同定）】

73 歳男性。発熱、嘔吐、下痢、体動困難を主訴に、家族同伴のもと受診された。血液検査で CRP9.84 mg/dL、白血球 $7.4 \times 10^3 / \mu\text{L}$ （好中球比：87%）、CT 検査にて大腸・小腸に液貯留を認め感染性腸炎を疑う所見であった。上肢静脈から採取した血液培養、および便培養から本菌を検出した。

配布した試料は血液検体（疑似検体）を凍結乾燥したものです。試料を溶解後、培養検査を実施し、原因菌を同定してください。

また、アンケートのご回答をよろしくお願いいたします（評価に影響はございません）。アンケートへのリンクは測定値入力サイトのログイン後のページにあります。

試料の溶解方法については p.3_「試料の取り扱いについて」をご確認ください。
精度管理システムへの入力方法等につきましては p.5_「Web 精度管理システム(各項目)」をご確認ください。

【試料 27（同定）】

症例は 2 歳男児。発熱および右耳痛を主訴に小児科を受診し、急性中耳炎と診断された。鼓膜の発赤・膨隆を認めたため鼓膜切開を施行し、採取した中耳貯留液を細菌培養検査へ提出したところ、本菌株が分離された。

配布した試料は、中耳貯留液検体（疑似検体）を凍結乾燥したものです。試料を溶解後、培養検査を実施し、原因菌を同定してください。

試料の溶解方法については p.3_「試料の取り扱いについて」をご確認ください。
精度管理システムへの入力方法等につきましては p.5_「Web 精度管理システム(各項目)」をご確認ください。

【試料 28、29、30（薬剤感受性）】

〔設問〕

試料 28 は *Staphylococcus aureus*、試料 29 は *Pseudomonas aeruginosa*、試料 30 は *Klebsiella pneumoniae* です。

試料 28、29、30 に対し下記の薬剤について薬剤感受性を実施してください。

薬剤感受性の判定は Clinical & Laboratory Standards Institute (CLSI) M100-36th Edition の基準を用いてください。なお、日常検査で検査していない薬剤については実施しなくても構いません。

試料 30 については、カルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（carbapenemase-producing Enterobacterales: CPE）に関する設問について選択肢より回答してください。

試料 28 <i>Staphylococcus aureus</i>	試料 29 <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	試料 30 <i>Klebsiella pneumoniae</i>
Clindamycin (CLDM) Daptomycin (DAP) Linezolid (LZD) Teicoplanin (TEIC) Vancomycin (VCM)	Amikacin (AMK) Imipenem (IPM) Meropenem (MEPM) Ciprofloxacin (CPFX) Levofloxacin (LVFX)	Amikacin (AMK) Cefepime (CFPM) Cefmetazole (CMZ) Imipenem (IPM) Meropenem (MEPM)

試料の溶解方法については p.3_「試料の取り扱いについて」をご確認ください。

精度管理システムへの入力方法等につきましては p.5_「Web 精度管理システム(各項目)」をご確認ください。

評価について

評価の方法につきましては、「精度管理調査報告書」をご確認ください。